

令和5年度第1回北本市自治基本条例審議会 次第

日 時 令和5年7月14日(金)
午前10時から正午まで
会 場 市役所3階 会議室 3-F

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長挨拶
- 4 議 事
 - (1) 前回審議会の振り返り
 - (2) 市長との懇談会
 - (3) その他
- 5 閉 会

<配布資料>

- ・次第
- ・資料1 チェックシートの取りまとめ
- ・資料2 前回審議会の振り返り

チェックシートの取りまとめ

「手話ベリかふえ」の活動に参加して感じたこと

- ・北本に長年居住していても地域での活動を知らないことが多く、地域に根付いていないと感じた。そのような人は多いのではないかと思う。そのような人たちに対して、知っていただくということができれば良いと思う。
- ・聴覚障がい者の人たちが楽しんでいるだけでなく、手話を通じて交流している周りの参加者の笑顔が印象的だった。
- ・参加したいという気持ちだけで突然参加しても楽しめるのか不安がある。
- ・何もかもが初めての体験でとても勉強になった。
- ・聴覚障がい者の方から直接手話を教えてもらい、その時の表情の豊かさに見入ってしまった。
- ・声を出していないのに大勢の人たちがにこやかで、「手話ベリかふえ」全体が明るい雰囲気だった。

大塚様との意見交換をして感じたこと

- ・映像を見ながらの説明がとても分かりやすかった。
- ・社会福祉協議会の活動範囲が多種多様にわたっていることに改めて感心した。
- ・「きたもとごちゃまぜの会」の活動で、地域のつながりづくりをされていることに興味を持ち、参加してみたいと思った。
- ・市内で様々な人が知り合っ、たくさんの居場所ができることはうれしいこと。
- ・どんな場所でも、いつも誰かにやってもらっているだけの居場所は長続きしないと感じた。そこに集う人たちが、それぞれにその場所で役割を見つけ出せるような関係ができる場所になることが必要だと思う。
- ・外に出て人と会い、話をするのはとても良いことだと思う。

小倉様との意見交換をして感じたこと

- ・手話を教えていただきとても楽しかったので、手話を覚えたいと思った。
- ・北本に「中庭」のようなカフェがあり、そこでは手話でお話ができることなど全く知らなかった。もっと多くの人に周知して、交流が広がれば良いと思う。
- ・「目の悪い人が眼鏡をかけて物を見るように、聴覚障がい者の方は手話を用いて会話することが日常です。」と言われたことが印象的だった。先入観を持たずに行動することが大切だと感じた。
- ・言葉(手話)は人と人とをつなげるだけでなく、そこから信頼関係ができ、人の居場所を作ることができると思った。



資料 2

前回審議会の振り返り



審議会スケジュールの確認



北本市自治基本条例審議会の進め方

		フェーズ2 地域活動の現場を「見て」、活動のすそ野を広げる議論をする				フェーズ3 審議の内容の取りまとめ		
フェーズ1 導入		第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	
第1回		第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	
時期	令和5年1月25日 午後2時から	令和5年3月2日 午後2時30分から	令和5年7月14日 午前10時から	令和6年1月～2月	令和6年4月以降 (ワークショップ後)	令和6年5月	令和6年6月	
内容	審議会の運営方法	地域活動の体験・見学	市長との懇談会の実施	ワークショップへの参加	まちづくりの推進に 必要な事項の議論	建議する内容 の取りまとめ	市長へ建議	
	・審議会の運営の方法について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・北本団地「中庭」手話ベリカフェ福祉と暮らすラボ ・地域活動を体験・見学後に、参加者同士で意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の現場に参加し見えてきたことをもとに、まちづくりを推進するうえで必要なことについて市長と懇談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人がつどい、つながる場所としての機能を期待する「(仮称)市民活動交流センター(旧栄小学校)の活用方法を検討するワークショップに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の視察や体験等を通して、まちづくりの推進に必要な事項を議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの推進のために必要な事項を取りまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長へ建議書を提出する。 	
場所	市役所 委員会室2	・北本団地「中庭」	市役所	未定	市役所	市役所	市役所	



地域活動の現場に参加してみた意見

- | 北本に長年居住していても地域での活動を知らなことが多く、地域に根付いていないと感じた。そのような人は多いのではないかと思う。
- | 手話を教えていただきとても楽しかったので、手話を覚えたいと思った。
- | もっと多くの人に周知して様々な人と交流できれば、なお良いと思う。
- | 参加したい気持ちだけで突然参加しても、楽しむことができるか不安に思う。
- | いつも誰かにやってもらっているだけの居場所は長続きしないと感じた。そこに集う人たちが、それぞれにその場所で役割を見つけ出せるような関係ができる場所になることが必要だと思う。
- | 「中庭」で「手話ベリかふえ」の取組みに参加してみて、そのつながりから新たな関わりが生まれた。これが地域との連携だと感じた。
- | 地域活動の現場に実際に足を運んでみて初めて、地元でこのような取組みがあることを知ることができた。



見えてきたこと

実際に参加することではじめて、活動が見えてくる

地域の取組みに参加して、そこでのつながりから新たに人と人とのかかわりが生まれることが、**連携**の第一歩

長続きのコツは、関わっている人たちが無理なく楽しみながら自ら活動しているという事

キーワードは「連携」

すべての住民が地域での課題を自分ごととして捉え、住民同士が積極的に**連携**して解決していくことが今後においてますます重要となってくる。（参考 令和4年4月答申）

連携するための一歩目

まずは取組みに参加することから



人のつながりから、新たな関わりが生まれる